建築心理学演習課題

地域にかかわるデザイン

信州大学大学院 理工学系研究科 建築学専攻

課題内容

- 須坂市の旧小田切家で利用される机と椅子ついて考える。
    - 地域性に配慮した上で、適切と思われるデザインを模索する。
    - 用いる材料は基本的に木材とする。
    - 設置期間は5年を基本とする。
- 少なくとも1人1案を提案し、2回のプレゼンを通じて1案を選出する。
- 選出された案は、実際に製作され、旧小田切家に納品される。

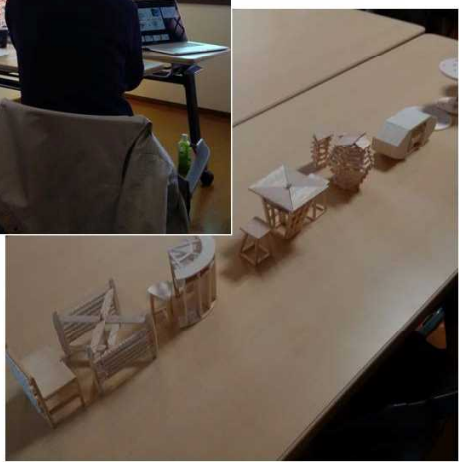
これまでの成果

これまでの成果

これまでの成果

課題スケジュール

時期	内容
7月下旬	現地見学および調査@須坂市
10月	エスキス@信州大学
11月	中間審査@旧小田切家
12月	最終審査@旧小田切家
1月	図面を完成させて発注
2月	実物の確認
3月	完成品の納品



「地域にかかわるデザイン」

あかり

旧小田切家住宅の机の提案

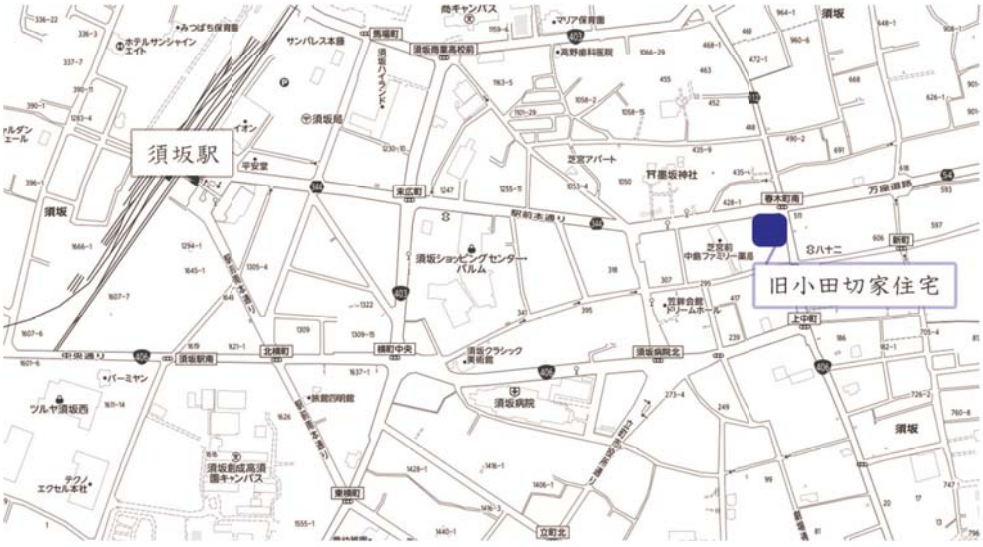
信州大学大学院総合理工研究科
建築心理学演習
担当教員：柳瀬亮太
木師舞子、杉山光暉、武知孝、山崎遥、渡邉有紀子

旧小田切家住宅

・明治から昭和初期に製糸業で栄えた須坂市において、蚕糸、麹、呉服商などを営んでいた。

・現存するほとんどの建物は明治時代に再建。須坂市指定有形文化財（平成 25 年）である。

・現在、喫茶スペースや様々なイベントを行える文化施設となっている。



旧小田切家住宅　上店

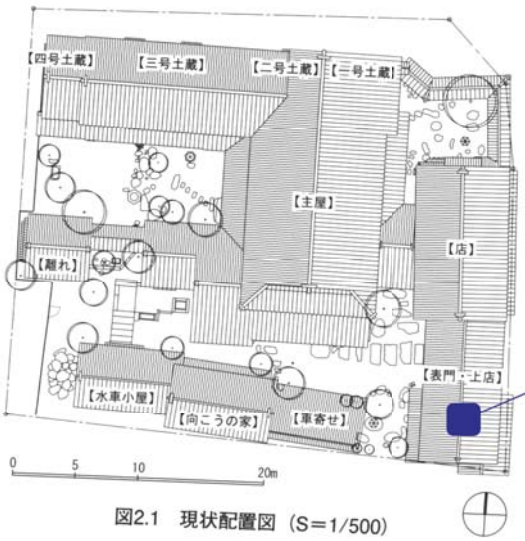
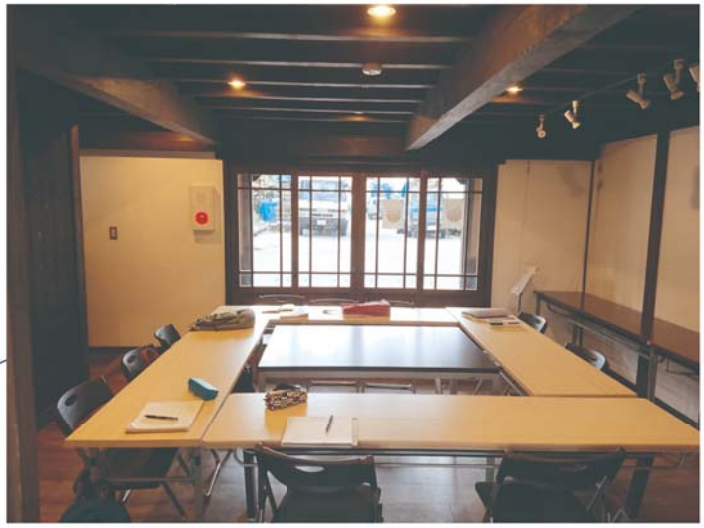


図2.1　現状配置図（S＝1/500）

配置図

出典：信州伝統的建造物保存技術研究会編『須坂市指定有形文化財　旧小田切家住宅修理工事報告書』、須坂市、2017

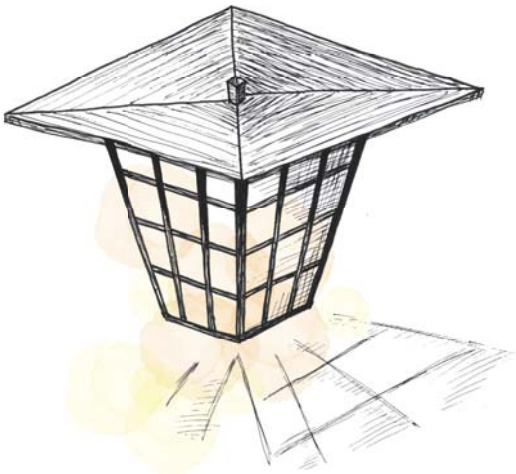


・貸しスペース
・木造２階建
・間口３間、奥行き２間半

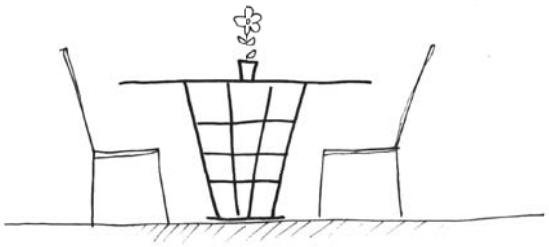
コンセプト

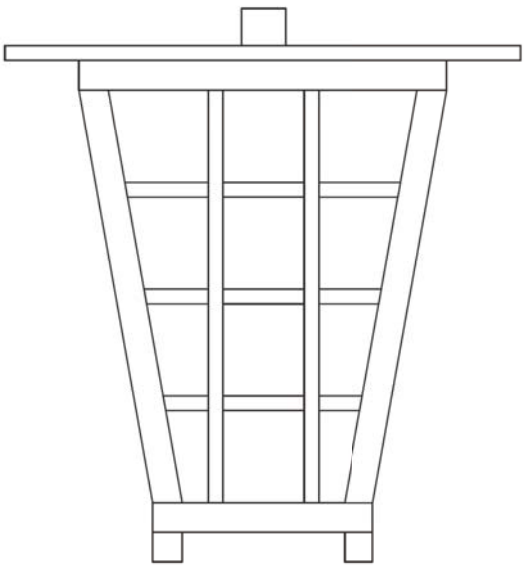
土蔵造りのまち並みが存在する須坂
銀座通りや御蔵町通りは歴史を体感できる空間
その空間を照らす街灯
この街灯を生活空間におろし、**『須坂の人々の暮らしを照らす』**

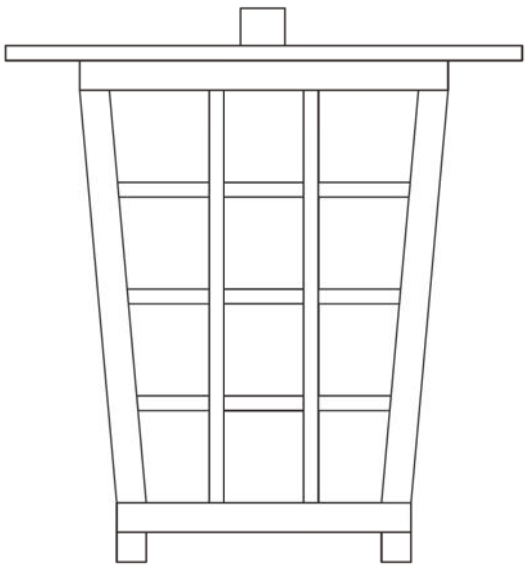
ダイアグラム



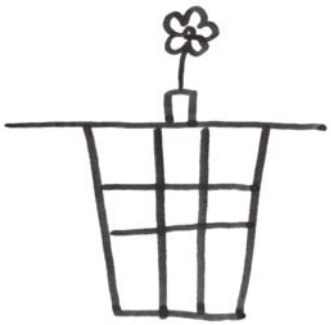
ダイアグラム

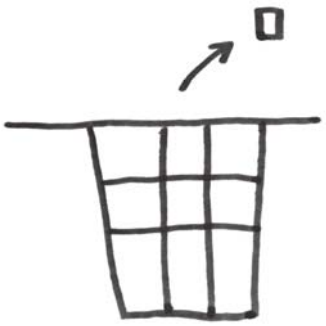




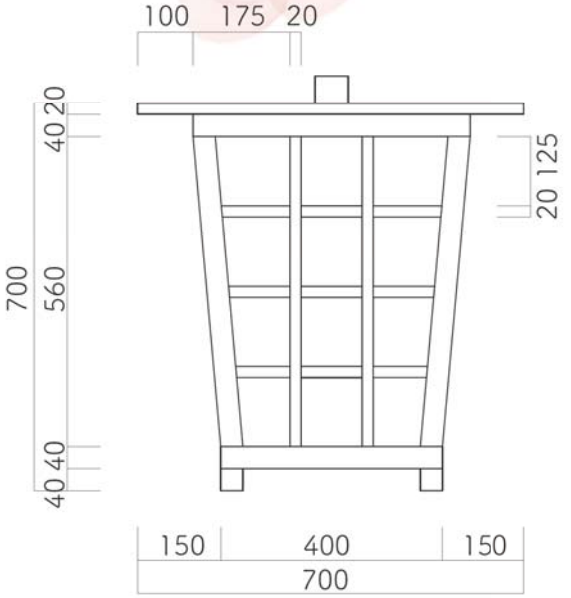


ダイアグラム

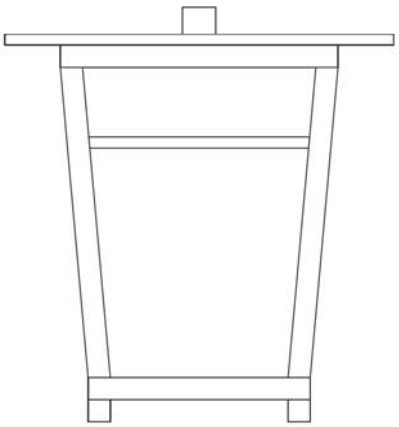


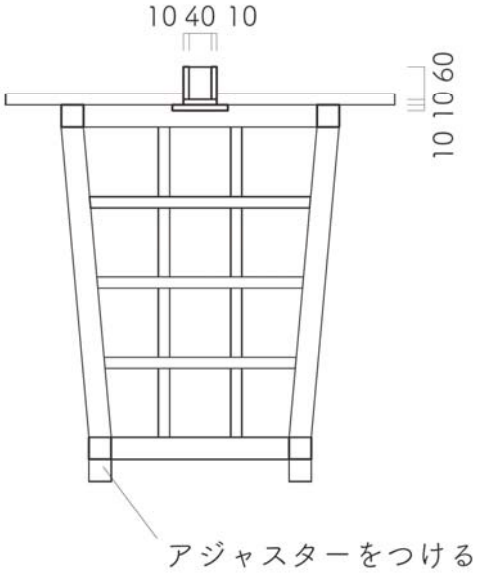


図面



立面図



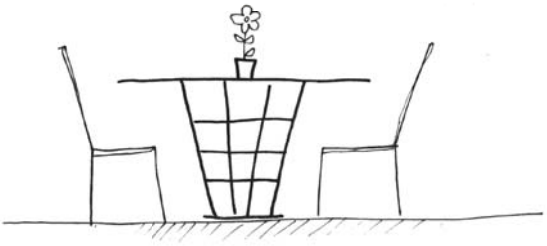


断面図

使用風景

室内で使うのはもちろん、

外に出して光が人を集める



作業風景

作業風景

作業風景

ご清聴ありがとうございました